

学校教育目標「笑顔いっぱい ともに輝く小山台」



小山台

学 校 だ よ り
10月号
令和4年9月30日
横浜市立小山台小学校



街 路 樹

校 長 椎 名 哲 也

街路樹の色付き具合に秋を感じる頃となりました。日本で一番多い街路樹はイチヨウなのだそうです。横浜市内でも大変多く、本郷台駅前にも。中区の山下公園通りイチヨウ並木は、しばらくそこに立って眺めていたくなるほどの魅力を感じさせられます。自分が小学生だった頃、校庭のイチヨウの実をたくさん拾って家に戻ると、母親から「もうこれ以上、家に持って帰らなくて大丈夫だからね。」



と少し困ったような顔をされたことを覚えています。今、思い返すと、母の気持ちが分かります。イチヨウは2億年を生き残った最古の木で、「生きた化石」と呼ばれているそうです。独特な実の香りが平気だった恐竜たちと共に、イチヨウは地球全体に広まっていったようです。氷河期が訪れて恐竜と共に絶滅しかけましたが、ほんの僅か生き残ったイチヨウが今に至っているそうです。イチヨウが街路樹として植えられる理由はたくさんあるようですが、病虫害が少ないなど管理しやすいことが一番の理由のようです。でも、落ち葉を片付ける作業は本当に大変だろうなと思います。最近、イチヨウの街路樹は、実がならないように種類を選んで植えているそうです。美しい街路樹は素敵です。でも、香りがしないイチヨウの街路樹に物足りなさを感じてしまうのは私だけでしょうか。イチヨウ一本一本の個性が活かされ出来上がった街路樹が、“本物”の街路樹なのではないかと私は思います。先日、台風が接近した9月20日の朝、児童の登校を正門で見守りましたが、独特な香りに気付いた私は坂を少し下ったところにある第一公園でイチヨウの1本の樹に実がたくさんなっているのを発見しました。小山台には“本物”がある、小山台は本当に素敵な街だと思いました。

さて、10月7日に「前期のあゆみ」をお渡しします。子どもたち一人ひとりの個性を大切にして、学習に臨む姿や生活する様子を担任がとらえ、所見を書いています。子どもたちは学校生活を送りながら学びを進めている最中ですので、出来ていることもあれば出来ていないこともあります。出来ていることをさらに高めたり、出来ていなかったことが出来るようになったりすることを目標に、一步一步を大切にして“本物”になろうと歩んでいます。「前期のあゆみ」をご家族の皆さんと一緒に見ていただき、今の子どもたちの姿をまずは受け止め、認めていただければと思います。